

市議団ニュース

No 1833
2016年02月12日
日本共産党根室市議団
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

「アスベスト大丈夫なの？」と父母から不安の声も

昨年札幌市の学校給食施設の煙突内部から、「アスベスト建材」が落下し、新聞やテレビ等の報道もあり、一時学校給食が施設改善のため、中止になる等によって、「根室市ではどうなのか？」と父母などから心配の声が出ていました。そのため、文科省では、全国の各学校に再度の調査を求め、この程結果が明らかになりましたので、本号でお知らせします。



落石小学校の外観(学校ホームページより)

今の段階では大丈夫！

根室市教育委員会は、リードで述べたような父母からの不安の声にこたえて、教育委員会からの「お知らせ」を関係する学校の父母向けに出しました。

文章は、「学校施設等におけるアスベストを含む断熱材の使用について」というものです。その文章は次のような内容です。

「道内の自治体で学校の給食センターのアスベスト含有の煙突用断熱材の不適切な管理が問題とな

っていることから、12月13日付で根室市の学校給食共同調理場の状況についてお知らせしたところとあります。根室市でも4つの学校施設等で煙突にアスベスト含有の断熱材が使用されているものの、断熱材の表面が荒れたり、煙突から断熱材が剥がれ落ちるなどの劣化、損傷はなく、アスベストの飛散の可能性はないとしたところですが、その後、専門業者に依頼し煙突が設置されている室内の環境中のアスベスト濃度を測定する調査を実施しましたが、全ての学校施設等で検出されませんでしたので、お知らせします。学校は、子どもたちが1日多くの時間を過ごす施設であり、北海道の『石綿含有保温材等点検マニュアル』に準じて三か月ごとに煙突の状況を確認、点検するとともに、状況に変化が見られた場合には、速やかに除去、封じ込めなどの対策を行うことになっています。今後とも、必要の都度、情報提供を行って

まいりますが、ご質問があれば下記までお問合せ下さいませよう、よろしくお願いたします。」という内容で問い合わせ先は根室市教育委員会・教育総務課担当 Tel 0153 23 6111(内線2412・2413)とのお知らせです。

測定結果報告書

測定は、釧路町の作業環境測定機関登録の業者である「環境コンサルタント(株)」が花咲小・調理場ボイラー室、啓雲中機械室を12月8日、落石小ボイラー室、花咲港小ボイラー室を12月22日にそれぞれ測定室内粉塵等の採取し濃度測定しました。

結果は、石綿繊維濃度0.5未満の環境基準をクリアしていることとされています。環境基準はもとより、「係数総石綿繊維数」は、4つの学校とも0となっています。



アスベストの危険

アスベスト含有の断熱材使用問題は、今から二十数年まえに、北斗小学校の給食調理室の天井部分にアスベスト含有の断熱材使用が判明、夏休みを長くとも「大体的な撤去工事」がおこなわれました。

そもそも、アスベストが危険な建材とされるのは、アスベストの繊維が呼吸により肺の中にはいることが原因で起きる「中脾腫(ちゅうひしゅ)」や「肺癌」などの疾患です。石綿関連疾患は、石綿ばく露(石綿繊維が口や肺の中に入る)から発病までの潜伏期間が長いことが特徴とされています。

いずれにせよ、学校施設にこの断熱材があることが判明したので、市教育委員会は、今後、施設改修のしつかりした計画が求められると考えます。